



給食だより 4月号

たまのしりがっこうきゅうしょく
玉野市立学校給食センター

新学期が始まり、新しい学年での1年がスタートします。みなさんが心身ともに健やかに成長していけるよう、給食センター職員一同、安全でおいしい給食を届けていきたいと思ひます。今年度もよろしくお願ひいたします。

給食センターの紹介

給食センターでは毎日、約50人の調理員やドライバーと一緒に約3600人分の給食を作って玉野市内の全ての小・中学校へ届けています。みなさんもしっかり食べてくれるとうれしいです。



給食センターは
たまのし ちこうちく
玉野市の築港地区
にあります



給食は「食べる教科書」

～献立表に載っている『食育の視点』ってなあに？～

給食の時間は、お昼ごはんを食べるだけの時間ではありません。準備、みんなと給食を食べる、片付けをすることまで、すべてが「食」を学ぶ大切な時間です。昨年度までは、給食の放送などを活用し、その日の献立に沿った『食育の視点』やテーマについてお伝えしてきました。今年度からは、子どもたちが給食で「なるほど！」「へえ～！」と感じた発見などを、ご家庭でも共有していただきたいと思います。献立表に『食育の視点』を載せることにしました。楽しい「食育の輪」を一緒にひろげていきましょう！

*** 6つの『食育の視点』***

<p>食事の重要性</p> <p>食べることは、からだをつくり、元気に毎日過ごすための力になるということ</p>	<p>心身の健康</p> <p>バランスよく食べることが、体だけでなく心の元気にもつながるということ</p>	<p>食品を選択する能力</p> <p>食べものにはそれぞれ違う栄養やはたらきがあり、それらを知ることによって上手に選べるようになるということ</p>
<p>感謝の心</p> <p>私たちの食事は、自然の恵みやたくさんの人に支えられているということ</p>	<p>社会性</p> <p>食事の時間は、協力したりマナーを身に付けたりする大切な場でもあるということ</p>	<p>食文化</p> <p>日本の伝統や地域の食べものには、それぞれのよさや歴史があるということ</p>

子どもの読書週間献立 玉野市立図書館×玉野市立学校給食センター コラボ企画

みなさんは、本を読んでいるときに「おいしそう！食べてみたいな」と思ったことはありませんか？
4月23日～5月12日の『子どもの読書週間』の期間中に、本に登場するメニューを給食の献立で再現します！本の中に登場するメニューを実際に味わうことで、文字や絵だけで想像していた世界が、味や香りとともに本物の体験をすることができます。どんなメニューが出てくるのか、お楽しみに♪

